

Lesson 27 「名詞⑩」

ねらい

曜日を表す語のつづりと発音を理解させる。
時を表す副詞句を理解させる。

※単語編Book①Lesson 20のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L26 ①④ (065) と ⑤ (066) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認 (③の単語を書いたか音声を聞いた曜日に○がついているか) をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L27 ①④ (067) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 発音練習の順に行います。 宿題 (③の単語を書いてくること) を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを確認させます。 L27 ①⑤ (068) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「Sunday」 生徒「日曜日」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「[日曜日 [月曜日] のカードを示して] Sunday?」 生徒「Yes. Sunday.[No. Monday.]」)
15分	L27 ②の1 (on Sunday) ～6 (this week) について、最初に先生が発音し、次に生徒が発音させます。 on は、あとにくる名詞によって「…の上」という意味で「場所」を表したり、「…に」という意味で「時」を表したりすることを理解させます。 各生徒に、最初に①④から曜日を表す語【名詞】を選ばせて、〈on+ 曜日を表す語〉の形で発音させ、意味を確認させます。次に①④と⑤から two, three 以外の紫色の枠の語【形容詞】と曜日を表す語【名詞】を選ばせて、〈every か last か next か this + 曜日を表す語〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は 、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が2の morning を afternoon にかえて「on Monday afternoon」と言い、生徒に「on Monday afternoon」を繰り返させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1～6の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に単語を選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・余裕があれば、6の〈this week〉でも this を every や last や next に変えて発音させ、意味を確認させましょう。 every week 「毎週」、last week 「先週」、next week 「来週」
5分 (まとめ)	㉞ (クイズ) に取り組みせ、答え合わせをします。 正解を発音させます。 宿題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけること) を出します。	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・㉞ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

Lesson 28 「名詞・形容詞③」

ねらい

数を表す語のつづりと発音を理解させる。
時刻の表し方を理解させる。

※単語編Book①Lesson 21のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L27 ①④ (067) と ⑤ (068) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認 (③の単語を書いたか音声を聞いた曜日に○がついているか) をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L11 ①④ (p.26) の one ~ ten の意味と発音を簡単に復習します。 L28 ①④ (069) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 発音練習の順に行います。 宿題 (③の単語を書いてくること) を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを確認させます。 L28 ①⑤ (070) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「eleven」生徒「11」) ・余裕があれば、21 [twenty-one] の発音を教えて、「Don't Say 21 Game」をしてみましょう。✳
15分	L28 ②の 1 (eleven o'clock) ~ 5 (eat fifteen strawberries) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。 時刻は〈時+分〉の順に数を表す語を並べて表すことを説明します。「11時」のようなちょうどの時刻のときは o'clock をつけることを説明します。 各生徒に、最初に①④から1語を選ばせて、〈数を表す語 + students〉の形で発音させ、意味を確認させます。次に、L11 ①④ (p.26) と L28 ①④⑤から数を表す語【名詞】を選ばせて、〈時 (one ~ twelve) + o'clock か分 (one ~ twenty / thirty)〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は 、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が2の thirteen を thirty にかえて「nine thirty」と言い、生徒に「nine thirty」を繰り返させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1 ~ 5 の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に単語を選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・余裕があれば、〈数を表す語 + apples か girls か strawberries か students〉でも発音させ、意味を確認させましょう。
5分 (まとめ)	㉞ (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。 宿題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけること) を出します。	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・㉞ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

※ 1人ずつ順番に1~3個の数を言っていき、21を言うことになった生徒が負けというゲーム。
先生が参加すると、生徒は結託して先生を負かそうとするので、授業が楽しく盛り上がります。

Lesson 29 「あなたは何時に起きますか」

ねらい

時刻について伝えたり、たずねたり答えたりできるようにする。

※会話編Book①Lesson 22のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L28 ①④ (069) と ⑤ (070) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認 (③の単語を書いたか音声を聞いた曜日に○がついているか) をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
10分	L29 ① (071) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 発音練習の順に行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・発音練習は一斉 (1文ずつ→1発言 [セリフ] ずつ) → グループ (半分サム役, 半分エイミー役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。
15分	L29 ② (072) と ③ (073) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し (②でエイミーのセリフ, ③でサムのセリフを言う), 次に生徒に行かせます (一斉)。何度か繰り返して暗記できたら, 先生と生徒, 隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。 What time 「何時」, get up 「起きる」, at 「…(時)に」は初出なので, しっかり意味を説明します。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを見ながら行わせ, 慣れてきたら, テキストを閉じて暗唱させましょう。 ・ペアワークでは, Amy のところを相手の名前に変えさせましょう。 ・余裕があれば, ペアワークを発表させましょう。
10分	L29 ④ (074) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 ①と②について, 発音練習をさせます。その後, 先生と生徒, 隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ, 次に音声を聞きながらテキストでつづりを確認させましょう。 ・①と②の発音練習は一斉 (1文→対話) → グループ (半分サム役, 半分エイミー役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。 ・余裕があれば, 自分のことについて答えさせ, ペアワークを発表させましょう。 <p>例1 A: What time do you get up? B: I get up at six.</p> <p>例2 A: What time do you go to bed? B: I go to bed at eleven.</p>
5分 (まとめ)	㉞ (クイズ) に取り組みせ, 答え合わせをします。 答え合わせのときは, 最初に先生が選択肢を発音し, 次に生徒に発音させて, 意味を確認させます。 〈Please + 動詞～.〉「どうぞ～してください。」と〈Can you + 動詞～?〉「あなたは～できますか。」は初出なので, 意味を説明します。 宿題 ①～④の音声を聞いて, 聞いた曜日に○をつけてくること	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は, L20 ② (p.44) に <u>go to school</u> が, L23 ② (p.50) に <u>come to my house</u> があることを教えて, 正解を見つけさせましょう。 ・㉞ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

Lesson 30 「アクティビティ」

ねらい

範囲を限定して何が好きかをたずねたり答えたりできるようにする。
簡単な自己紹介ができるようにする。

※単語編Book①Lesson 5, 6, 18のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L29 ① (071) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンプリング) →一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認 (音声を聞いた曜日に○がついているか) をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
15分	L30 ①について、1 what color 「何色」、2 what fruit 「何のくだもの」、3 what subject 「何の教科」の意味を説明し、質問の内容を確認させます。 答え方を説明し、L7 ①② (017)、L8 ①② (019)、L24 ①② (059) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 L30 ① 1、2、3 の質問と答えの英文について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。 答えの空所は、L7 ①② (017)、L8 ①② (019)、L24 ①② (059) の中から適宜選んで発音させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・説明するときは、テキストを見ながらつづりと発音と意味を確認させましょう。 ・color, fruit, subject を強く発音するよう指導しましょう。 ・答えの英文で使う単語の発音練習は一斉で行いましょう。テキストは閉じて、音声に集中させましょう。 ・発音練習は、1文 (質問の英文、答えの英文) ずつ行いましょう。質問と答えの英文は一斉→半分質問する側、半分答える側→質問する側と答える側を入れ替える…のようにパターンを変えて3回繰り返しましょう。
5分	生徒を1人指名し立たせて、先生に1、2、3の質問をさせ、先生が次々と答えていきます。次に先生が生徒に1、2、3の質問をし生徒に答えさせます。 テキストの表に、先生の答えと、指名されて答えた生徒の名前と答えを記入させ、聞き取った情報を書きとめる作業をさせます。次に「自分」の欄に自分の答えを書かせます。	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティの見本としたいので、反応のよい生徒を選びましょう。 ・他の生徒にはテキストを閉じさせて、先生と生徒のやりとりを聞くことに集中させましょう。 ・表への記入は、生徒の習熟度に応じて、日本語か英語か併記かを指示しましょう。
5分	生徒同士のペアワークでL30 ① 1、2、3の質問と答えのやり取りをさせ、表に記入させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべくテキストを見ないで質問したり答えたりするように促しましょう。 ・机間巡視で表の記入を確認しましょう。
5分	L30 ②の見本として、先生が英語で自己紹介 [発表] をします。意味を確認させます。 先生の発表内容で、発音練習をさせます。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習は一斉で行いましょう。 ・テキストを見ないで言えるように、1文ずつ→2文ずつ→全文の順に練習させましょう。
10分 (まとめ)	最初に各生徒に着席させたまま小声で自己紹介 [発表] の練習をさせます。生徒の習熟度に応じて、4線に今書くか、家で書くかを指示します。 次に、やりたい生徒に挙手をさせて指名し、立たせて自己紹介 [発表] をさせます。他の生徒には聞き終わったら拍手をさせます。	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 [発表] の練習のときは、最初はテキストをちらちら見ることを許しても、最終的には暗記させてテキストを見ないで言えるようにさせましょう。 ・名前を書くときは、「ローマ字いちらん」(p.67) で確認させましょう。

※授業が31回できる場合は、Lesson 30を2回に分けて行います。第30回は① (ペアワークをさせて表に記入させるところまで) を行い、第31回は② (先生が見本として英語で自己紹介 [発表] を行い、生徒に自己紹介 [発表] をさせるところまで) を行います。